

IPNRA

発表者:伊熊 雄一郎

1. 会議の概要

- 名称:
Integrated Photonics and Nanophotonics Research and Applications (IPNRA)
- 主催／共催機関:
Optics and Photonics Congress
- 開催場所:
Boston Marriott Copley Place Hotel (Boston, MA, USA)
- 日時:
13-16, Jul. 2008
- 発表件数:
 - Oral:117(うち plenary:1, invited:30)
- 概要:
1972年、Integrated Photonics Research Meetingとして発足。近年、Nanophotonicsをとりこんで現在の形となった。半導体デバイス、誘電体導波路および導波路デバイス、数値シミュレーションおよびモデリング、ナノフォトニクス、マイクロオプティクスを扱う。アプリケーションエリアとしては、長距離通信、データ通信、光コンピューティング、光ストレージ、ディスプレイ、センシングをスコープとする。

2. 発表内容

- 伊熊 雄一郎 (Yuichiro Ikuma)

Title:

"Tunable Optical Dispersion Compensator Using a Hybrid-Lens Structure in an Arrayed-Waveguide Grating"

発表概要:

レンズを集積したAWG型可変分散補償器における、高分散補償を実現するレンズ構造を提案した。

反響と感想:

AWG型分散補償器のレンズ設計について発表を行ったが、発表内容と質疑シミュレーションをするうちに、本発表は時期尚早であった気がした。もっと研究内容を詰めたい。発表自体は練習を繰り返していたおかげでスムーズに終わったが、英語が障害となって質問にうまく答えることが出来ずに終わってしまった。質問は2つあり、1つは透過帯域幅が狭いのではないかと、2つ目はレンズでのフレネル反射、ブラッグ反射はどのように見積もられているのかという点であった。本会議での発表は、予想されていたことながら、英語力のなさを痛感する結果となった。

聴講では、津田研究室で標準テキストとなっている「光エレクトロニクス」の著者であるAmnon Yariv氏の講演を聴くことができた。